

CASBEE-建築(新築)2016年版
ダイヘン産業機器機庫原工場 第3期増設工事■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
C 建築物の性能評価								2.5
Q1 室内環境					0.30		-	2.8
1 音環境				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境				2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能				3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-	
1 昼光率				3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質				3.0	1.00	-	-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	
1 換気量				3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	1.00	-	-	
2 喫煙の制御				-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.2
1 機能性				2.8	0.40	-	-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ				2.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		執務系室(工務室・工程管理室 40人勤務)について 9.50㎡/人		4.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画				1.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観				1.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		食堂474㎡ 執務系室(380㎡)より広い。		5.0	0.33	-	-	
3 内装計画				1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		内装の防汚性、風除室の二重シャッター連動制御、鉄部の防錆		5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃性の考慮、廃棄物置場の設置、設備の更新性考慮		4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		4.2	0.30	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	-	4.2
1	階高のゆとり	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		5.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	4.2
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）		-	0.40	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.50	-	-	3.9
3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		-	-	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用	4.0	0.13	-	-	
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: -	5.0	0.63	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	3.0
4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-	-	-	-	3.3
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	4.0	0.40	-	-	3.2
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用削減		3.2	0.60	-	-	3.2
2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10	-	-	3.7
2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	
2	発泡剤（断熱材等）	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒	3.0	0.50	-	-	3.8
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮		3.6	0.33	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止	5.0	0.25	-	-	3.7
2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	2.8
3	交通負荷抑制	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	5.0	0.25	-	-	2.8
3 周辺環境への配慮		2.8	0.33	-	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音	3.0	0.33	-	-	
2	振動	3.0	0.33	-	-	
3	悪臭	3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光（グレア）への対策	3.0	0.30	-	-	